

まえがき

本書を構想していた時期の2017（平成29）年1月頃には、「文科省の天下り幹旋」で2009（平成21）年頃から人事課OBを通じた組織ぐるみの再就職の幹旋が行われてきたことが発覚した。同年の4月からは、前期講義が開始されようとしていたころである。当時、テレビや新聞・週刊誌などのマスコミは「森友問題」や「加計問題」などで、日本全国が非常に揺れていた時期に該当する。この両方の問題は、筆者から見れば教育を食い物にする両理事長の人間性に大いに問題があるのではないだろうかと感じたものである。

幾度となく“まえがき”を見直していると、「担任らの叱責を苦に自殺」という新聞の見出しが目に飛び込んできた。残念なことに、2017（平成29）年3月に福井県池田町の町立池田中学校の生徒が、担任と副担任に激しい叱責を繰り返され、精神的に追い詰められて自殺に至ったことが書かれていた。また教員による「指導死」ではないか。2012（平成24）年に大阪市立桜宮高校で、バスケットボール部顧問の教諭から体罰を受けた男子生徒（当時17歳）が自殺した事件をもう忘れたのだろうか。

さて「教育」を『広辞苑』で引いてみると、“人間に他から意図をもって働きかけ、望ましい姿に変化させ、価値を実現させる活動”と記されている。それだけでは、分かりづらい。次に『大辞泉』を引いてみると、“ある人間を望ましい姿に変化させるために、心身両面にわたって、意図的、計画的に働きかけること。知識の啓発、技能の教授、人間関係の慣用などを図り、その人の持つ能力を伸ばそうと試みること”とある。そして二つ目の意味として、“学校教育によって身に付けた成果”というのがあり、教育の類義語として訓育・薫育・教化・教授などが挙げられている。この内容ならば、少しは「教育」について理解することができた。

そこで、さしあたり「教育」とは、辞書的な意味では“第三者が、ある人物に対して知識や技能を授け、人間としてあるべき姿へ形成していこうとする一連の活動”と解釈することができる。教員という職業は、まさに園児・児童・生徒・学生に前述の行為をつかさどる職業であり、最も人間的な職業の一つである。

しかし、教育現場に目を向けてみると相も変わらず不登校・いじめやいじめを苦にしての自殺・保護者による虐待などに関する問題が生起している。一方、保

護者や地域の人々は、教員への期待や要求を多様化・複雑化させるために、教員は様々な困難な場面に直面している。最近では、教育現場をブラック産業とも揶揄しているマスコミもある。

各大学において「教職課程」を担当する教員は、激動する社会や急変する教育界の中で、次世代の社会を担い、自立して問題解決能力を持つ子どもを育成することのできる資質・能力を培い、地球的視野から持続可能な社会の発展と構築へ貢献する保育者・教育者・指導者の養成を日々めざさねばならない。

そこで、本書の執筆者一同は、幼稚園・小学校・中学校・高校の教諭から管理職（教頭・園長・校長）まで勤め、教育行政でも学校指導課や教育研究所の指導主事等を経験してきており、執筆者の大半が教職系大学院で修士号を取得し、実践と理論の往還を経験した実務家教員で書かれてでき上がったものである。それだけに、編著者としては、説得力のある内容に仕上がっていると自負している。

本書は、特に次の点に配慮した。教職をめざす学生が最初に学ぶ教職科目が『教職入門』や『教職論』であるので、各章のはじめには要約を、各章末には学習課題や参考文献を付記したのは前回と同様である。また、前回評判の良かった“ミニ教育用語辞典”を今回も採用することにした。前回同様に各章単元の最後に、教員採用試験に頻繁に出題される教育用語（10項目）を新たに選択して、各章末に付記した。

本書の内容は、できる限り平易な文言で具体的に執筆することを、各執筆者の先生方には編著者の方からお願いをしたところでもある。

執筆者の先生方もそれぞれの大学で重責を担っておられる方々ばかりなので、執筆及び校正段階で時間がなく至らぬ点が多々あると思うのだが、ご叱声とご教示をお願いする次第である。

最後になりましたが、(株)大学教育出版編集部の方々をはじめ代表取締役社長佐藤守氏には「教職入門」に関する書を今回で三冊執筆させていただき感謝あるのみである。

また本書は、各執筆者の先生方のご協力がなければ、刊行に至ることは非常に難しかったと思います。この場を借りて感謝の意をお伝えしたい。

平成 29 年 12 月吉日

宝塚医療大学保健医療学部中田研究室にて

中田正浩

新しい視点から見た教職入門

目 次

まえがき	中田 正浩	i
------	-------	---

第 I 部 理論編

第 1 章 教職への視座	中田 正浩	2
1. はじめに	3	
2. 「教育」とは何か	3	
3. 「教職」とは何か	7	
4. 教育の現代的課題	9	
5. 教員をめざす姿勢	10	
三二教育用語事典①「子どもの貧困」	中田 浩司	19
第 2 章 日本における教育制度と教員養成の歴史	中田 正浩	21
1. 古代の教育制度と教育機関	22	
2. 中世の教育制度と教育機関	24	
3. 近世の教育制度と教育機関	27	
4. 近代の教育制度と教育機関	38	
5. 現代の教育制度と教育機関	54	
三二教育用語事典②「教育委員会と指導主事・管理主事」	中田 浩司	65
第 3 章 教員の身分と服務	宮坂 政宏	66
1. 教員の身分	66	
2. 教員の職務	68	
3. 教員の服務	69	
4. 教職員の処分	83	
三二教育用語事典③「教員免許更新制」	長井 勳治	88
第 4 章 教員のメンタルヘルス	森 一弘	89
1. 教職員のメンタルヘルスに関する現状	89	

2. 教職員のメンタルストレスに関する傾向	91
3. 教職員のメンタルヘルス予防対策	96
4. まとめ	103
ミニ教育用語事典④「虐待について」	中田 浩司 106
第5章 教員の資質向上と研修	長井 勘治 107
1. はじめに	107
2. 教員に必要とされる資質能力の不易と流行	109
3. 今とこれからの時代を見据える	111
4. 教員の資質能力向上のために必要なこれからの教員養成と研修	119
ミニ教育用語事典⑤「カリキュラムマネジメント」	山口 裕毅 124
第6章 「教育制度改革」の現況把握	住本 克彦 125
1. 今、進んでいる「教育制度改革」は…	125
2. まとめ	134
ミニ教育用語事典⑥「アクティブ・ラーニング」	住本 克彦 135

第Ⅱ部 実践編

第1章 教員という仕事	138
第1節 幼稚園教員の仕事	中田 律子 138
1. 幼稚園教育の基本と特性	138
2. 幼児期の発達の姿	139
3. 幼児期にふさわしい生活の展開	141
4. 指導計画	142
5. 今後の幼児教育の展望	144
第2節 小学校教員の仕事	藤田 英治 145
1. 学校教育目標の具現化に向けて	145
2. 教科等の学習面での指導	146

3. 生徒指導等の生活面での指導	147
4. 校務分掌として位置づけられた仕事	148
5. 学級担任としての仕事	149
6. 教員として仕事を行う上で大切にしたいこと	151
第3節 中学校教員の仕事	山口 裕毅 152
1. 中学校の教育とは何か?	152
2. 中学校教員の仕事	153
3. 変化する中学校教育の位置づけ	155
4. 中学校教員となるにあたって	156
第4節 高等学校教員の仕事	久田 孝 157
1. 高等学校とは	158
2. 高等学校における目標	158
3. 高等学校に関する主な制度	159
4. 高等学校教員とは	161
5. まとめ	165
三二教育用語事典⑦「中央教育審議会(中教審)」	藤田 英治 167
第2章 学級経営	168
第1節 幼稚園の学級経営	中田 律子 168
1. 幼稚園の学級経営	168
2. 環境を通しての総合的な指導	169
3. 小学校教育との連携の推進	171
4. 特別な支援を必要とする幼児への配慮	171
5. 子育て支援のあり方	171
6. 預かり保育や長時間保育、一時保育について	172
第2節 小学校の学級経営	藤田 英治 173
1. よりよい人間関係を育てる学級経営	173
2. 児童の発達課題に応じた学級経営	174
3. 学級経営デザインの作成に向けて	176
4. 保護者・地域との連携	179

第3節 中学校の学級経営	山口 裕毅 180
1. 教室の空気—中学校教育の特徴—	180
2. 学級の機能	182
3. 学級集団づくり	182
4. 学級経営計画と方法	183
第4節 高等学校の学級経営	久田 孝 185
1. 学級と経営の関係性	186
2. 組織としての学校	187
3. 学年経営・教科経営と学級経営	187
4. 学級の位置付け	189
5. 学級経営の必要性と大切さ	189
6. 学級経営と学習指導	190
7. 学級経営とキャリア教育	191
8. 学級経営と進路指導	191
9. 学級経営と生徒指導	192
10. まとめ	194
三二教育用語事典®「学習指導要領」	山口 裕毅 196
第3章 生徒指導	197
第1節 幼稚園の園児指導	中田 律子 198
1. 発達の個人差が大きいのが幼児期の特徴	198
2. 安定するための「居場所づくり」	199
3. 保護者との連携・教師間の連携について	201
4. 気になる幼児を支えるために	202
5. 幼児に関わる職業人として	202
第2節 小学校の生徒指導	藤田 英治 203
1. 小学校における生徒指導	203
2. 生徒指導の教育課程上の位置づけ	203
3. 生徒指導上の諸問題	205
第3節 中学校の生徒指導	山口 裕毅 209

1. 中学校の生徒指導とは	209
2. 中学生の教育上の課題 — 「中1ギャップ」を中心に —	210
3. 生徒の人間関係づくりとしての生徒指導	211
4. 生徒指導を行うにあたって	213
第4節 高等学校の生徒指導 ……………	久田 孝 214
1. 高等学校期における生徒指導	214
2. 生徒指導とは	215
3. 生徒指導の目標	216
4. 生徒指導の原理	216
5. 生徒指導の形態	218
6. 懲戒	219
7. 生徒指導の三原則	219
8. 生徒指導に求められる教師の資質能力とは	220
9. まとめ	220
三二教育用語事典⑨「中等教育学校（中高一貫教育）」 ……………	中田 浩司 222
第4章 教職員の不祥事 ……………	中田 正浩 223
1. 最近の教育現場における教職員の動向	224
2. 学校園という組織	225
3. 教職員としての心構え	226
4. 教職員の「非違行為」による懲戒処分の状況	231
5. 「非違行為」による教職員の責任	244
三二教育用語事典⑩「不登校」 ……………	中田 浩司 251
第5章 教育実習・教育実習事前事後指導・教職実践演習 ……	森 一弘 251
1. 教育実習の意義	251
2. 教育実習の心得	253
三二教育用語事典⑪「主体的・対話的で深い学びの実現に向けて」 ……………	森 一弘 266

第6章 教員採用試験	住本 克彦	267
1. はじめに		267
2. 教師としての「心構え」		268
3. 公立学校における「教員採用選考試験」		268
4. 私立学校における「教員採用選考試験」		269
5. 募集と出願		270
6. 「教職教養試験」の内容について		270
7. 「教職教養試験」対策について		271
8. 「一般教養試験」の内容について		271
9. 「一般教養試験」対策について		271
10. 「専門教養試験」の内容について		272
11. 「専門教養試験」対策について		272
12. 「論文試験」の内容について		273
13. 「論文試験」対策について		273
14. 「面接試験」について		274
15. 「面接試験」対策について		276
16. 「模擬授業」の内容について		277
17. 「集団討論」の内容について		278
18. 「実技試験」の内容について		278
19. 「ロールプレイング」の内容について		279
20. おわりに		279
三二教育用語事典②「学級崩壊と対教師暴力」	久田 孝	281
執筆者一覧		282